

No. 146

全ヤ

5/44.



モダン寺 ⑰

静岡市玄忠寺



特集 第九回世界仏教徒会議マレイシヤ大会

特集 第九回WFB大会I

WFB日本地区センター

提出議案とその理由

議題 WFB各地区センターにおいて仏青活動を促進しよう。

理由 一九六九年四月十三日から一週間マレーシアにおいて開催される第九回WFB大会における日本センター提出議題について概要を説明申し上げます。

第一回のWFB青年委員会が一九六七年十月

大谷光暢会長メッセージ

この度第九回世界仏教徒会議がマレーシア連邦において開催されましたことは、会長ブーン妃殿下並びに仏教に深い御理解を持たれるマレーシア連邦首相ラーマン閣下およびマレーシア仏教徒各位の絶大なる御尽力の賜と存じます。私はこれらの方々の方々の御努力に対して深く感謝と敬意を捧げる次第であります。

各国の代表におかれましては、仏陀の教えのもとに結集して、お互いに胸襟を開いて話し合い、この会議が世界の平和と人類の福祉に貢献し仏教の興隆に寄与する立派な成果を挙げられることを祈念するものであります。

に東京において開催され、各種の仏青問題について自由に意見を交換し、討議したことは非常に意義がありました。

今日の世界において青年問題が激増しております。彼等の多くは生活に指針を失い、絶望の真只中にさまよいながら苦しんでいる状態であります。これは科学の急激な発達に対比して人間の精神面がおろそかにされていることを物語っています。唯物的な物の考え方と宗教軽視と

佐藤首相メッセージ

マレーシア連邦の首都クアランプールにおいて開催される第九回世界仏教徒会議に私は日本国民を代表してお祝いの言葉を申し述べた機会を得ましたことは、まことに私のよるこびとするところであります。

いうまでもなく、ゴータマ・ブッダの慈悲と寛容の教えは人類の精神文化において力強い影響を与えてきました。私達にとって今日ほど仏陀の偉大なる教えを回復することが必要であり、しかも緊急を要する時代はないと思えます。

各々の民族とその国家は統一と調和を探し

人間関係の危機を阻止するために私達世界の青年仏教徒は仏陀の智慧と慈悲の教えのもとに人類の永遠の平和と幸福を確立するために努力しなければならぬと思えます。

この意味において私達青年仏教徒はWFB各地区センターに仏青を結成し、お互いに結束をかため、連絡を密にしなければならぬと思えます。そうすれば仏青活動はより能動的になるし、やがてそれが仏教青年の育成ということになり、WFB機構の隆盛にもなることを確信します。WFB日本センターとしてはこの提案が満場一致で可決されることを心からお願ひする次第であります。

求めているにも拘らず、いまだにあらゆる分野において分裂と破壊と対決が行なわれている状態であります。そのような情況下において全世界の仏教徒が仏陀の教えのもとに国際会議を開き、人類の幸福と世界平和の実現のために重要な方途を構ずることは非常に意義深いものがあります。

最後に、この会議が成功裡に終ることを念願して、私のお祝いの言葉といたします。



世界仏教徒会議を考える

杉谷 義純

第九回世界仏教徒会議が去る四月十三日より一週間の日程で、マレーシア連邦の首府クアラルンプールを主会場に開催されたが、これを機会に世界仏教徒会議に関する基本的な問題と今後の展望について考えてみたい。

まず最初に代表の選定の問題がある。世界仏教徒会議のように、議決権の行使によってその国の態度を明確に表明しなければならない場合には、強力な代表団（決定能力のある）が必要なことはいまでもない。特にあらかじめ予想していなかった問題等が動機として出された場合、他の国がはっきりと賛否を表明しているのに、日本だけが帰国してから相談のうえ返事をするというのでは如何にも頼りない。一体彼等は何のための代表なのか、と他国の代表から軽蔑されることになってしまう。だからといって国内事情も振り返らず、何んでも要受け合いをして、結局は実行できなかった等ということでは、それこそ国際信義を踏みにじることになるだろう。それに加えて国際関係は、もちろん代表になる人の国内における地位も重要であるが、外国代表の間に如何に顔が売れているか、ということが外交推進上大変強く作用して行く。そのうえ当然のことであるが、代表団の中には英米人と同等の英語の能力を持つ人に加えねばならない。やがては東南アの国々も同時通

訳の設備をつけるであろうが、総会そのものはむしろ形式的なものであり、委員会とか、又会議外の交渉、いわゆるロビー外交なるものが大決定の大勢に影響を与えているからである。

以上の点を留意して代表団を構成するとすると、全仏の現状では大変困難なことが多い。例えば、今回は代表団に全仏の理事長及び事務総長が加わる等強力な代表団ということでは大変良かったのであるが、役員の任期が二年であるため、次回にはすっかり顔ぶれが変わる恐れがあるとか、予算が少ないために専門の通訳を同行させることが出来ない等種々問題がある。そして現状のように多くは個人の負担に頼って代表を派遣しているのでは、日本仏教界の指導性の発揮どころか、次第に悲観的な状況に向って行くのではないだろうか。これらは大会があることに問題となるが、又すぐに忘れ去られてしまう。しかしこの代表団の適切な選定と予算の裏付けこそ、地味ではあるが最も重要な問題である。仏教界全体で真剣に考えねばならないと思う。

次に会議の主な内容も今後の展望であるが、今大会の特色は、今までの財政、出版教育宣教人道調和統合の五委員会の他に、新たに青年委員会が設けられたことである。この青年委員会の設置は、前回のタイ国に於ける大会におい

て出された日本の「WFFBの中に国際青年連合機関を設け、世界の仏教青年の交流を図ろう」という提案にもついたものである。従って日本としても、一層仏教運動を盛りあげるべく、今度の大会でも引き続き青年問題を取り上げ、各国における仏教運動の育成を呼びかけることになった。その結果各国の支持を受け、さらにこの日本提案が発端となり「仏教青年による大会を次期世界会議の前に開催しよう」ということが決議されるに至った。戦前には汎太平洋仏教会議があったが、これが実現すれば戦後はじめてのことであり、大変画期的なことだといえよう。このように青年の問題は単に日本ばかりでなく、各国とも強い関心を示しており、今後ますます積極的に進められる可能性がある。その意味で日本としては青年の育成の問題について長期的な展望を持つことが急務とされよう。本腰を入れて行かないと日本だけ取り残される恐れがあるのである。

いつの大会に於いても他国の日本に対する期待は相当なものであると聞いていたが、はたして今大会でもやはり大変なものであった。客観的にみて、アジアに於ける日本の果すべく役割は実に大きい。そして仏教を通じて働きかけることの重要性を認識しなければならぬ。何故ならば、アジアの国の代表団に加わっている在家の人の大部分がその国の政府高官が、又は相当な社会的地位を持っている人達であるからだ。従ってこれらの代表に働きかけるところの意味は非常に大きい。（全日本仏教青年会理事長）

特集 第九回WFB大会

第九回世界仏教徒会議マレーシア大会

に先立って世界仏教徒連盟常任理事会が四月十二日午前十時から同国首都クアラルンプールのマレーシア師範学校会議室で開かれた。参加常任理事国は、日本、ハワイ、セイロン、マレーシアそれにタイの五ヶ国七名が出席した。ハワイ代表ミヤバラ・スナオ、セイロン代表スタンレー・ウイリアム、マレーシア代表ティーン・チヨ、日本代表来馬道断、WFB会長ブーン妃殿下、WFB事務総長サンガバシ、会計部長ヤエンゲソン。

議案は下記の通り報告され、承認された。一、WFB本部事業報告並びに決算報告。二、WFB加盟申請をしている七団体の件。

将来は一国一WFBセンターを理想としていくが、多数民族からなる国の場合には若干の融通性をもたせるが将来は、全日本仏教会の様なものに組織化していくことが望ましいということである。三、各種委員会(分科会)委員長と大会運営委員長選出の件。

四、常任理事国選出の件

マレーシア、セイロン、ハワイ、日本より各一名、それにWFB本部より三名加わる。

五、WFB正副会長選出の件

会長ブーン妃殿下(タイ)、副会長デリコフ(ソ連)、同大谷光暢(日本)、同ミヤバラ・スナオ(アメリカ)、同ピッチン・フイ(シンガポール)、同チヨダ・ラマ(シッキム)、同ジャグター(モンゴリヤ)、同クレーンハン(マレーシア)、同ハンセンレー(韓国)、同グラシヨフ(ドイツ)、同デベン・ドラ(セイロン)、同ウ・ティテイラ(ビルマ)、ダンマ・サクテ(タイ)。会計監

査役ナコンタブ(タイ)

六、永久かつ強力なWFB本部設置の件

WFB常任理事会は、これに全国的に賛成するがWFB本部を健全育成するためにはどうしても多額要するので加盟団体の援助は勿論、タイ国政府が多額の資金援助をすることを前提とする。

同日午後からはWFB大会実行委員会が同校で開かれ、各国センターのチーフ・デリゲートが出席した。午前の常任理事会で承認されたことを逐次審議し、WFB本部を永久にタイ国に設置することについては一九六六年のチェンマイ大会において満場一致で採択されている。タイ国では仏教が国教であり、憲法の規



挨拶するブーン会長

世界仏教徒連盟(W・F・B)は、一九五〇年五月二五日セイロンのマララセケラ博士の仏教徒団結の呼びかけに応じて結成されたものである。一九五〇年五月二六日からコロンボで第一回M・F・B会議が開催され、アメリカ、フランス、イギリス、ソ連、日本等の二九ヶ国から世界仏教徒の代表が参加した。

特に、この会議には五億人以上の世界仏教徒を代表してテラバード(南方上座部仏教)、マハーヤナ(大乘仏教)そして各宗派の垣根を超えて、仏教徒である自覚のもとに、一同に会したことは、世界宗教史の上にもまだかつてその類をみなかったのである。

そして、今日も尚、仏陀のみ教えのもとに、国境を超えて仏教徒の団結と国際親善を深めるため二年に一度、関係国で会議を開催し続けています。WFBの目的

一、仏陀の教えを實踐し、遵守することを推進して行く。
二、仏教徒の団結と和合を確実なものにする。
三、仏陀のみ教えを普及させること。
四、教育、文化、社会、人道奉仕の面ににおける活動を積極化し、組織化する。

五、人類の調和と平和を確保する為に働き、同じ目的を持つ他の団体と協力して行くこと。
WFB加盟国及び支部
三二ヶ国五六支部

オーストラリア・ベルギー・ビルマ
カナダ・セイロン・中華民国・チェコスロバキヤ・イギリス・フィンランド
フランス・西ドイツ・香港・インド
インドネシア・日本・韓国・ラオス
マレーシア・モンゴリヤ・ネパール
オランダ・パキスタン・フィリピン
シッキム・ハンガリー・シンガポール
スエーデン・タイ・アメリカ・ソ連
ブラジル・南ベトナム

定により、タイ国王は仏教のバトロンであり、擁護者である関係上、タイ国政府は今までWFB本部に対しても多額の援助を与えてWFB本部を育成してくれ

た。

四月十三日

八時四十五分クアランブール市の政府会議場デワン・タンク・アブドルラーマンというところで第九回世界仏教徒会議の式典が行なわれた。マレーシア仏教会長老ブツダ・タッサ師の点火式があり、三帰五戒文の斉唱された。

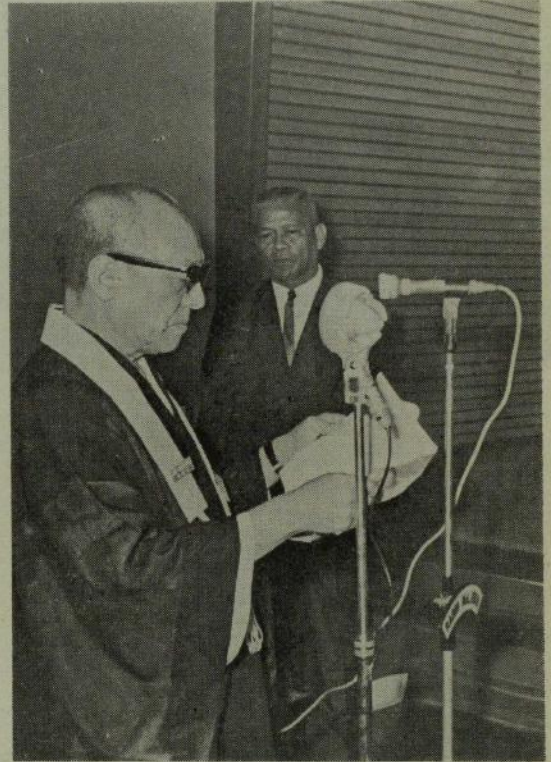
壇上には、コーカイボウ国務大臣、ブーン妃殿下、タンズリ、マレーシア仏教会長、マララセケラ氏の四名が登壇。タンズリ仏教会長が各国代表参加者に対し歓迎の辞を述べた。次々各国代表が祝辞とメッセージを朗読した。

同日一時より市内の中国寺院で怨親平等英霊法要を、来馬道断団長の導師でござそかに執行した後、更に二時から大会総会に臨み、WFB各センターの活動状況等の発表。夜は、全員歓迎晩さん会に出席し土産物の交換があり、全仏からはトランジスタラジオを贈呈し、大谷光暢会長のメッセージを稲田事務総長が代読した。

四月十四日

午後からは、各分科会があり、財政、教育出版文化、宣教、人道擁護、調和統合、青年に分かれ、各国センターからの提出議案に基づいて討議が開始された。日本は、提出議案の関係上、青年委員会に出席した。

青年委員会 ハワイ代表のミヤバラスナオ氏が今日の世界において青年問題が如何に大切であるか、第一回汎大洋洋仏教青年会議が一九三七年に東西のかけ橋



首相メッセージを読む来馬全仏理事長

であるハワイで開催されたことに融れ、そのおかげでハワイ仏教が今日のような活動を展開するに至ったということを紹介し、次の世代を担う仏教青年の持つ意義を強調した。尚、この委員会の議長にヤマガマ・ミネオ（ハワイ）、副議長にウイリアム（セイロン）、同じくモータンコン（台湾）、書記にセナサン（タイ）が選出された。

四月十五日

この日は、各地区センターの仏青活動報告とその問題点についての報告がなされた。

同じく青年委員会に出席。次の通り。
(一) WFB規約第十一条各種委員会の第一項に青年委員会という項目を補則すること（WFBマレーシアセンター提出）
(二) ベトナム仏教青年センターを設立すること（WFBベトナムセンター提

出）
(三) WFB各地区センターにおいて仏青活動を促進しよう（WFB日本センター）

(四) 国際仏教青年会議を開催しよう（WFセイロンセンター）
第一議案については正式に加えることを満場一致で可決された。

第二議案については国内問題であり、WFB本部の記録に書き留めておくだけとする。

第三議案については、WFB規約第四条中に青年活動の育成を計る条項があるが、現状では充分にその目的が達成されているとはいえない。そこでこの規約の精神を再確認し、日本提案が討議された。それをステップとして第十回WFBセイロン大会までに国際仏教青年大会をどこかの国で開催すべく積極案がセイロンセンターより出され、日本としてもこ

れを支持し満場一致で採択された。

第四議案については、セイロン大会前に、WFB本部がリーダーシップをとって促進させる。そして各国仏青リーダーが仏青運動のあり方について意見の交換し、かつ、お互いに仏教を勉強し、次の世代を担う真の仏教徒たうべく自覚を保持して行くこと。

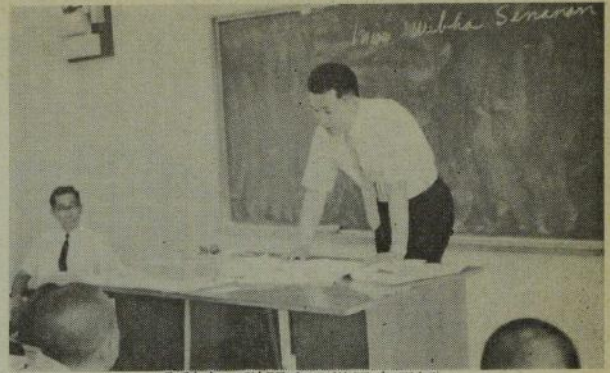
以上四条について総会への報告としてWFB本部へ提出する。

その他各種委員会決議事項次の通り。
財政委員会

一、各国センターは年間会費として五十ドル、又はそれに相当するものを本部に収める。又新加入を認められたセンターは入会金として五十ドル収める。
二、WFB本部は事務を円滑に処理するために事務次長をおくこと。
三、タイ国バンコクに永久なるWFB本部設置を記念して、ゴールデンメダルをタイ国政府が発行するようにWFB会長ブーン妃殿下が交渉する。その理由はWFB本来の活動をよりスムーズにするための必要資金を増加することである。もしも実現すれば四十万ドルの収入が見込まれる。

調和統合委員会
一、法輪のマークを全世界の仏教徒のシンボルとすること。
二、五月の最初の満月の日をウエスカ祭日とし、この日に仏教徒の行事を行なう。

人道擁護委員会
一、人類の自由と平等を保障するために国家間のトラブルを平和的に解決しよう全ての政府と国連にアピールすること。
二、仏教徒ばかりでなく、異教徒にも親



分科会で説明する鎌田良昭師

善と相互理解を深めるよう交流を図ること。

宣教委員会

一、ヨーロッパ諸国又は仏教徒の少ない国に使節団を派遣し、仏書等を贈呈して仏教の宣布に努力すること。

二、世界共通の仏教聖典を作成する。

三、北米仏教研究センター設立は資金がないので当分は困難である。

教育出版文化芸術委員会

一、WFBは政治に関係しない世界的規模の団体であるのでユネスコに加盟するよう努力すること。

二、各国センターは、仏教研究来訪者に對して必要な援助を与えること。

三、仏像又はその他仏教のシンボルを商品として売買してはならない。

四、WFB高等教育者ゼミナールを特別委員会としてみとめること。



午前九時よりポアタイ高校で総会が開かれ、各種委員会の採択事項の報告。満

四月十六日

午前十時から市内の僧院ジエトウワン寺で比丘供養式が行なわれ、各国代表と昼食。午後二時からWFB会長招集のもとに常任理事会が開かれ、日本からは来馬理事長の代理として稲田事務総長が出席した。審議された議案次の通り。

- 一、WFB本部事務局人事の件
- 二、WFB加盟申請団体の件
- 三、第十回WFBセイロン大会の件
- 四、東京における常任理事会の件
- 五、WFB大会期間中の印刷物配布の件
- 六、次期大会からのレポートの件

四月十七日
会場をマレーシア北部の都市ベナンへ移動。

四月十八日

場一致で総会で承認された。
四月十九日

同校で閉会式。
最後にWFB事務総長が第十回WFB

全国寺院名鑑完成

▲内容

- ① 全国寺院名簿（全国約七万五千ヶ寺の寺院名、宗派名、所在地を行政区画別に記す）
 - ② 著名寺院並に由緒等掲載寺院名鑑
 - ③ 海外寺院名簿
- 以上三部を一冊に集録

会議は一九七一年にセイロンが主催するという確認書をマララセケラ氏より受けとったとの発表があり、無事一週間の大会プログラムが終了した。

■申込と問合せは

全日本仏教会寺院名鑑刊行会（東京都中央区築地三の十五の一本願寺内）
電話東京 五四一〇三一一三

価格 二二、〇〇〇円

但し、寺院関係者については、一七、二五〇円（予約者一五、四五〇円）で販布いたします。
（こん包料・送料別）

筆

お給仕の裏にあるもの

随 細川 量雄

朝夕に仏様のお給仕をされる「姿」は、何にでも頭われて来るものと、つくづく此頃は考えさせられます。
まだ見ぬ人千田杏月氏の句の、△等身の寝釈迦に燭を春の冷え

(女性仏教)

を見たときは、思わずどきっとして仕舞いました。此方は確かに「お給仕の人」か、僧分に間違いないと見て取り、聞いて見ると、花園大の先生、門人数十とあつては、さてこそと納得出来たことでした。其許ではなく、正直に云えば、おのれが俳句、又ここでもしてやられたりと、詩藻の程もうらやましく、お慈悲の「姿」がこうも動くものかと心に沁入る程の思いです。拙句は

△ほの暗き如來の燭の春の冷え

でした。御仏前に燭をかかげ、さて下陣に座って見るとの感覚で、杏月氏の句は、燭を捧げる姿が静かに動いていて、一点の無駄もなく、仏様に近づこうとするときの春の冷えの発想は、心憎い程の世界を見せ、筆者の到底近づけそうもない姿を写し出しました。彼の句は、腰をかがめて礼拝しながらの献燈なのに、私のはもう、献燈してまだ礼拝に手が届かず、内容は随分緊張したつもりでも、残念ながら、彼程の「動き」を示しては居りません。春の冷えもこうも違うものぬ

と、至らぬ己が恥ずかしい程です。多分私は、燭(の)とせずに(を)とすべきだったかも知れません。「お給仕」をする身でありながら、いつも心のうちに礼拝していいので、端なくもかな一字に、その醜い姿を晒らすことになりました。全く大谷邊短氏の「推稿の偶一日落椿」を、ふと思ひ出していたからかも知れません。

二 或方の句の

△空の歩みろうろうと月一人

の名句は、どなたもすぐ見て取れる、拡りのうちの自己凝視に、感激の瞬間を忘れることが出来ません。哲学者の「拡り」をこんな形で頭わした方を見たことはなく、如何にも三千世界を一含みに、十七文字に収められるとは全くの驚きです。けれどもお給仕の人ではありませんでした。次の句を同じ方だとはどうしても思われません。

△垣があるので隣りの椿うちに落ちる

だれのでもない空に吹き、だれでもない空間に落ちる、何食わぬ顔して、落花を見ながら、その実、所有の非合理を考える、と有るのは、どうやら「お給仕」に近づいているように見えて、そうではなさそうです。自由律と云うのが氣にかかり、「垣ありて、隣り椿うちに落ち」と云いたいのですがどうでしょう

浮べていれば、たとえ一瞬の御給仕にも亦、御慈悲の香がきこえるでしょう。それがあらゆる世界の御給仕の裏にあるものだ、そんな気がしてなりません。
(欧州仏教会名誉会員・日本詩人クラブ 会員)

ガンジー印度首相

六月に 来日

ガンジーインド首相は、来る六月二十三日訪日する。

全仏では、六月二十五日鶴見総持寺で、国際仏教興隆協会と共催で歓迎会を行なう。早速、歓迎実行委員会を発足させる。

今度の訪日の目的は、日本政府の公賓である。

二十二日

全仏理事会を開催

来る五月二十二日築地本願寺会議室で、理事会を開き、昭和四十三年度財団法人全日本仏教会事業報告、歳入歳出決算の承認等、又日本万国博覧会について協議される。



全日本
仏教会
推せん

法名用字範

筆者 中村 素堂

全国書店発売

B5版/250頁/多色刷/

附録・墓誌一塔婆一念仏・題目その他/

1500円
120円

仏教
書林

(取りよせるよう指示して下さい。)
中山書房

東京都文京区湯島2-14-4

TEL 633-7676・振替東京180328

宗派・県仏人事(就任)

徳島県仏教会

(事務所 徳島市寺町八二番地安住寺内)

会長 岡村儀雄
副会長 矢野行範

〃 矢野行範
〃 小笠原実道
〃 青野興正

主事會計 浅川慈泉

華嚴宗々務所(東大寺々務所)

宗務長 清水公照
寺務長 清川宗玄

〃 狭川宗玄
〃 筒井寛秀
〃 上野慶

〃 教務部長 上野慶
〃 事務部長 筒井寛秀

曹洞宗「禅を聞く会」主催で講演会開催

「禅を聞く会」(曹洞宗々務所内)では、五月十九日朝日新聞本社六階朝日講堂で午後五時四十五分より講演会を開催する。一、仏教讃歌合唱 駒沢大学合唱団。
二、世相を思い、道元禅を思う。

山田靈林 師(大本山永平寺副貫首)

三、安らぎの月々 桜井秀雄 師(曹洞宗教化専門委員)

第三回仏教伝道文化賞贈呈式

財団法人仏教伝道協会(理事 長森川智徳師)では、昭和四十三年度仏教伝道文化賞を選定委

員会(委員久保田正文、同増谷文雄、同佐藤密雄、同三原信一、同知切光蔵、同山田靈林、同友松円諦、同中山理々、同中村元同吉田留次郎の各氏で講成)を開催し、伝道者・実践者に該当するとして常光浩然師、研究・論文・著述・翻訳等に該当するとして梅原猛師の二名に決定した。

(仏教伝道文化賞について)

財団法人仏教伝道協会は、昭和四十年十二月文部大臣の認可を受けて発足しました。仏教伝道に功績のあった人に、仏教伝道文化賞を贈ることになった。尚、第一回受賞者は、岩野真雄師、紀野一義師、第二回受賞者は、北川桃雄師、綱脇龍妙師でした。

東京大学仏教青年会

理事長に、平川彰氏を選出

去る二月十四日財団法人東京大学仏教青年会では理事会において、中村元理事長の任期満了による退任で、新理事長に平川彰理事を選出、又諸井貫一監事の後任に、永野護評議員を監事に選出した。

靖国神社側の宗教法人離脱声明および自由民主党総務会の決定に対する

抗議声明

○宗教法人靖国神社は、五月十五日、「靖国神社国家護持に関する法」案成立の暁には、直ちにすんで宗教法人を離脱し特殊法人に移行する手続きをとる決意」がある旨の声明を發表し、これを衆参両院議員宛送付した。これをうけて、自由民主党総務会は、五月十六日、靖国神社法案を国会に提出することを決定した。

○靖国神社法案は、その成立にあって、現に宗教法人である靖国神社に対し、国が特権を付与しようとするものであり、明らかに憲法第二十条および第八十九条の規定に違反するものである。靖国神社の右の声明は、この特権を得ようとしてあえて出されたものであり、したがって、宗教法人靖国神社は、政治権力の誘導による巧妙な偽装解散と考えずるをえない。

○それゆえに、この法案は、明らかに宗教に対する政治の干渉であり、憲法が規定する「宗教の自由」、「政教分離」の大原則をふみにじるものである。このような法案の成立を許すならば、「神社は宗教にあらず」との詭弁によって国家神道を樹立し、他の宗教を弾圧した戦前の宗教政策を再現し、思想統制への道をひらくことになるであろう。このようなことは、戦没者の尊い犠牲を空しくするものであり、また遺族の方々の願いにも反するであろう。

○われわれは、以上のような立場から、自由民主党が、靖国神社法案を国会に提出することに對し、ことに嚴重に抗議するものである。
昭和四十四年五月十七日



寺のお紙表

浄土宗玄忠寺。開山源譽上人。本尊阿弥陀如来。天正十八年豊臣秀吉より朱印下附。天台宗に属する庵寺を得て玄忠寺となる。
昭和二十年戦災にあい焼

失。現在のものは、昭和三十一年弥生式の入口を模して設計、同三十二年落慶。
総費用六五〇万円。建物六二坪鉄筋。設計者杉山善二。施工牧田工務店。
所在地 静岡市大鋸町三ノ十一。

全日本仏教会
新日本宗教団体連合会
日本キリスト教協議会
靖国神社問題連絡会議
自由民主党總裁
佐藤 栄作殿